

東芝テック(株)

東芝テック(株)は、「モノ創りへのこだわりと挑戦 - いつでもどこでもお客様とともに」のスローガンの元、お客さまにとっての価値創造を原点に発想し、優れた独自技術により、世界のベストパートナーとともに、確かな品質、性能と高い利便性を持つ商品やサービスをタイムリーに提供しています。

リテールソリューション事業分野では、店舗の視点に立ち、POS(販売時点情報管理)システムを中心にマーケットニーズにマッチした新商品の開発を行い、お客さまに最適な価値を提供できるように努めています。ドキュメントソリューション事業分野では、オフィス業務に欠かせないデジタルMFP(Multifunctional Peripherals)を中心にバーコードプリンタなど、ドキュメントシステム対応力を強化し、オフィスやバックヤードでの業務の効率化に貢献しています。インクジェット事業分野では、高印字品質及び高信頼性を実現する産業用インクジェットヘッドを開発し、新たな市場開拓に取り組んでいます。

2011年は、世界初となる値引きラベルの文字を画像認識技術により直接認識する縦型スキャナ<sup>(注)</sup>や、画像を消去して用紙をリユースすることで二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を削減するECO-MFP、Web技術によりお客さまがPOS画面を簡単にカスタマイズでき使い勝手の向上した飲食店向け新POSシステム、バッテリー駆動も可能な小型タッチターミナル、オフィスソリューション対応力を強化したフルカラーMFP、UV(紫外線)インクへの対応力を強化したインクジェットヘッドなどを開発し商品化しました。

(注) ハイライト編のp.5に関連記事掲載。

執行役員 商品・技術戦略企画部長 市原 一征

### ● オフィス対応力を強化したフルカラー MFP e-STUDIO4540c/6550c シリーズ

多様化するシステム環境へ高度なセキュリティ性能を保持してスムーズにつながり、かつ環境にやさしいフルカラーMFP e-STUDIO4540c/6550c シリーズを開発した。

主な特長は、次のとおりである。

- (1) 新規開発のe-BRIDGE Xコントローラによりオープンプラットフォーム化を進め、ユーザーのシステムとの容易な接続と、アプリケーションの開発を容易にするインタフェースや開発支援環境を提供
- (2) 本体からHDD(ハードディスクドライブ)を外し想定外の機器に接続すると記録データを自動的に削除するHDDを業界で初めて<sup>(注)</sup>搭載
- (3) 当社従来機に比べ待機電力を約80%、TEC(Typical Electricity Consumption)値を40%削減し、省エネ性能を大幅に改善

(注) 2011年9月時点、MFP分野において、当社調べ。



e-STUDIO4540c/6550c

e-STUDIO4540c/6550c full-color multifunctional peripherals (MFPs)

### ● 飲食店向けPOSシステム FScompass

飲食店を取り巻く環境変化を先取りし、今後の店舗運営の羅針盤として繁盛店へ導くPOSシステム“FScompass(エフエスコンパス)”を商品化した。

主な特長は、次のとおりである。

- (1) Web技術を導入し、画面を構成する部品を機能単位にブロック化することにより、ユーザーがPOS画面を簡単にカスタマイズできる新プラットフォーム“スライド&スケーラブルUI(ユーザーインタフェース)”を開発
- (2) “すぐわかる”をコンセプトにした新UIの採用でストレスのないオペレーションを実現
- (3) 多言語表示・ヘルプ機能により外国人やシニアの即戦力化を支援し、会計処理における顧客満足度を向上



QT-10 FScompass

QT-10 FScompass point of sales (POS) systems

## ● プリンタ内蔵の小型タッチターミナル WILLPOS C10

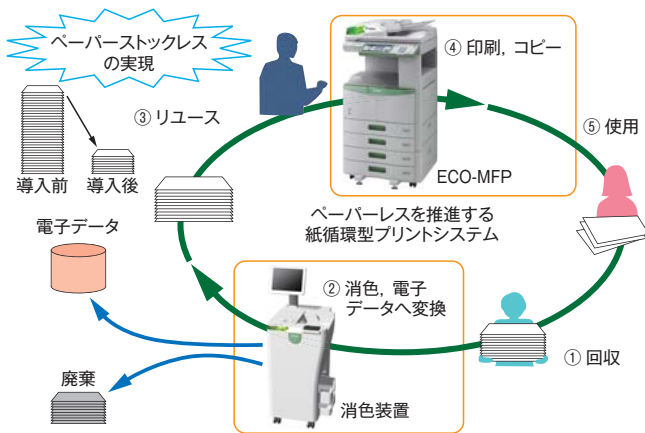


小型タッチターミナル WILLPOS C10  
WILLPOS C10 compact touch-screen terminal with built-in printer

小型、防滴、ファンレス、及びプリンタ内蔵と設置上の制約を大きく改善し、従来とは異なるIT（情報技術）市場への展開も期待できる高信頼性タッチターミナルWILLPOS C10を開発した。主な特長は、次のとおりである。

- (1) バッテリーオプションの追加で、バッテリー駆動POSとして、電源のない環境や電源事情の悪い場所でも使用可能
- (2) ディスプレイの標準マウントを持ち、IT用途であるKIOSK 端末としても使用可能
- (3) 低消費電力CPUの採用、防滴構造、及びファンレスにより高信頼性を実現することで、ぬれる可能性のある場所でも使用可能

## ● 用紙のリユースを可能にするECO-MFP



紙の循環と情報の循環  
Life cycles of information and paper using ECO-MFP with erasable toner

画像を消色して用紙をリユースすることで、通常のMFPに比べ4回の用紙リユースでCO<sub>2</sub>排出量を約57%と大幅に削減できるECO-MFPを開発した。

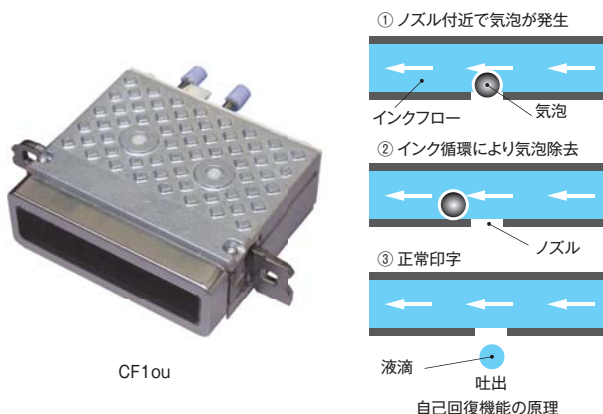
瞬時に消色できる色材技術、低温でのトナー定着を業界最高レベルの性能で実現した機能分離型トナー技術とワイドニップ定着技術、及び用紙の汚れや破損度合いを検知して再利用の可否を判断する技術の採用により、瞬時に消色し用紙を再利用できるMFPを世界で初めて<sup>(注)</sup>商品化した。更に、消色装置の両面スキャナで消色前に画像を電子化し、個人認証により管理されたサーバやフォルダに保存することで、エコの実現と同時に文書管理を行うことができる。

また、ECO-MFPは、「平成23年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰（技術開発・製品化部門）」を受賞した。

(注) 2011年12月時点、MFP分野において、当社調べ。

関係論文：東芝レビュー、66、11、2011、p.35-39。

## ● 機能性インク対応インクジェットヘッド CF10u



CF10uと自己回復機能の原理  
CF10u inkjet head with ink circulation featuring automatic recovery of failing nozzles

機能性インクへの対応力を強化したインク循環型インクジェットヘッドCF10uを商品化した。以下の特長により、機能性インクの吐出が可能となり、各種工業用途への展開が期待できる。

- (1) UVインクなど反応性の高いインクに耐性のある部品を採用し、外部からインクが浸入しないようにシーリングを強化
- (2) 気泡などにより発生した印字抜けをインク循環により瞬時に回復する“自己回復機能”を実現
- (3) 高粘度高比重顔料など沈殿しやすい成分を含有したインクでもインク循環により安定した吐出を実現